九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

『在明の別』本文校訂箇所一覧（稿）

辛島, 正雄
九州大学大学院 人文科学研究院 : 教授

https://doi.org/10.15017/3077407

出版情報：文獻探究. 57, pp.62-49, 2019-03-31. 文献探究の会
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

『在明の別』本文校訂箇所一覧（稿）

辛 島 正 雄・ありあけの會

『今とりかへばや』の研究からこの道に入った者として、同じく〈男装の麗人〉を主人公とする『在明の別』は、ぜひとも押さえておきたい作品であった。

戦後にその存在が明らかになった本作品の研究は、大槻修氏による渾身の大著（基本資料 3）によって読解のための環境が劇的に整備され、さらには新書版の訳注書（基本資料 5）も加わったため、以後はもっぱら、その成果に上乗せするかたちですすめられてきた、といって過つまい。だが、それら 2 著に施された校訂や注釈については、懇切ながらも、作品世界を存分に味わうには十分でない、と感じられたため、もっと深く、より厳密に読み解いてみたいとの思いは、早い時点で萌していた。とはいえ、現実には、なかなか真正面から向き合う機会をもてないまま、加えて、1995 年に配本のはじまった『中世王朝物語全集』（笠間書院）には、当然ながら本作品も含まれている（中野幸一・横溝博両氏担当）ので、それさえ刊行されれば、積年の疑問・不審も一気に解消されるのではないか、との期待もあって、いわば様子見の状態が永くつづいたのである。

そんななか、ふと気がつけば、大学での教員生活も、指折り数えられる年数を残すのみとなった。限られた時間でなにができるか、と考えたとき、気になるあの物語を、人任せではなく、そろそろ自力でなんとか物にせねば、との野心が、にわかに湧き上がってきた。そこで、かつての「たまもの會」のメンバーに話を持ちかけ、この物語の輪読会を立ち上げたのが、還暦を迎える 2015 年の 4 月。まず、宮﨑裕子氏による基本資料についてのガイダンスが行われ、翌 5 月から、月 1 回のペースで、毎回ひとりが担当し、校訂本文・語釈・現代語訳等の資料を用意するというかたちで、輪読を開始した。

爾来、会を重ねること 40 有余回、2019 年 1 月には巻三に入り、残りの分量からすれば、定年退職を迎える前には無事読了できそう、というところにまで漕ぎつけた。

前身である「たまもの會」の成果としては、九州大学附属図書館所蔵の『たまも』を翻字・紹介するにとどまった（本誌 52 号［2014 年 3 月］、53 号［2015 年 3 月］に分載）が、本輪読会では、当初から、全巻読破の暁には、信頼できる校訂本文を完成し、語釈や現代語訳をも備えた注釈書を出版したい、との目標を掲げて、読みはじめた。だが、じっさいに輪読をすすめてみると、不審を覚えながらも解決に到らない問題箇所の続出で、毎回さらなる宿題が増えるばかり。とくに、読解の総決算ともいうべき現代語訳は、担当者作成の資料をもとに、どう調整・統一したものか、いまだに方向が定まらない。それ

でも、できる作業は先にすすめておきたいとの思いから、巻二の後半にかかるころ、輪読会の進行とは別に、全巻の校訂本文だけは単独で作成しておくことにした。まがりなりにも電子テキストにできれば、作品内での表現の確認もぐっと楽になるからである。

こうして、暫定的ながらも、全巻にわたる校訂本文のファイルを完成し、会員に配信したのが2018年7月31日のことであった。その後も、ときおり見直してはマイナーチェンジを繰り返し、現在に到っている。本稿は、そのような校訂本文を作成するさい、底本本文のどこをどのように校訂したかについて、簡便に一覧できるようにしたものの最新ヴァージョンである。そこには、輪読会での検討結果を逐一反映させたが、未読の部分については、わたくしの判断によった。今後、会として、注釈書の核となる〈よりよい校訂本文〉の完成を目指すためにも、できれば事前に広く諸賢のお知恵を拝借したいとの思いから、本文を欠く中途半端なかたちではあるが、あえてフライング気味に、資料提供に踏み切った次第である。

輪読会は、開始後ほどなく「ありあけの會」と呼ばれるようになり、2019年3月時点での輪読担当者は、担当順に以下のとおり。（　）内の数字は、担当回数を表す。

宮﨑裕子（6）・辛島正雄（6）・天野ひろみ（5）・坂本信道（5）・小松明日佳（5）・森誠子（5）・河内美香（5）・坂井伸子（4）・前川暁（1）・田島智弘（1）

いよいよ読了というゴールも見えてきた現在、会員一同、気をひきしめ、いっそうの精読に努める決意であること、いうまでもない。

なお、校訂本文のファイル作成にあたり参照・検討した基本資料は、以下に掲げるとおりである。底本本文は2の写真複製により、従来以上に厳正な判読に心がけた。

1　中村忠行・曾沢太吉校『有明の別 上・下』（1957～1958年、古典文庫）
2　『天理図書館善本叢書6　あさぢが露・在明の別』（1972年、八木書店）
3　大槻修著『在明の別の研究』（1969年、桜楓社）
4　鈴木一雄「『有明の別れ』ところどころ」（「金沢大学国語国文」6号、1978年3月）
5　大槻修訳・注『有明けの別れ―ある男装の姫君の物語―』（1979年、創英社）
6　市古貞次・三角洋一編『鎌倉時代物語集成 第一巻』（1988年、笠間書院）
7　妹尾好信「『在明の別』本文校訂覚書」（同氏著『中世王朝物語　表現の探究』［2011年、笠間書院］所収。初出は、1998年と2001年）

また、本文校訂や読解上の問題点について、部分的ながら検討を加えたものに、以下の拙稿がある。本稿に示した校訂理由の説明も含まれており、適宜参照されたい。

A　「『在明の別』読解考――「この君はかりかにこもり給て」を中心に――」（「語文研究」122号、2016年12月）
B　「『在明の別』巻一本文校訂考」（「国語と国文学」95巻5号、2018年5月）
C　「『在明の別』巻三本文校訂・読解ノート」（「文學研究」116輯、2019年3月）
D　「『在明の別』巻二本文校訂・読解考」（「語文研究」127号、2019年6月予定）

巻	通し番号	丁・表裏・行	校訂本文	底本本文	校訂理由・依拠論文	校訂後	校訂前
巻1	1	1オ③	まちいつる	まちいへる	誤写	つ	へ
	2	1ウ②	あくまて	□□まて	欠字4	あく	
	3	2オ⑨		きみみ□の大夫にて	意味不明		
	4	2オ⑩	たちまのすけかけ給へる	たちまのすけるけ給へる	誤写	か(可)け	るけ
	5	2ウ②	いみしく	□□しく	欠字4	いみ	
	6	3オ③	たかきいやしき	いやしき	脱文	たかき	
	7	3ウ③	いとかくしももてなし	いとけくしももてるし	誤写4	か(可)・な	け(介)・る(留)
	8	4ウ①	けたかくけうらなる	けちくけうらなる	誤写7	たか	ち
	9	4ウ②	たゝいまは	たらいまは	誤写	ゝ	ら
	10	6オ④	思へかめる	思へりめる	誤写	か(可)	り
	11	6ウ③	この君はかりむまれ給てかすかにこもり給て	この君はかりかにこもり給て	脱文A	むまれ給てかす	
	12	6ウ⑦	ひきこめては	ひきためては	誤写	こ	た(多)
	13	7ウ④	をはしつれはにや	をはしつれはかりや	誤写	に(耳)	か(可)り
	14	8オ⑦	お(orを)とゝは	もとゝは	誤写	おorを	も
	15	8ウ④	えはるけ侍らぬ	えはるけ侍らね	誤写	ぬ	ね
	16	8ウ⑤	心やましうおほしたるは	うやましきおほしたるは	意改	心やましう	うやましき
	17	9オ⑥	人にゝぬ	人にぬ	脱字	ゝ	
	18	9オ⑥	ましらひ	ふしらひ	誤写	ま(満)	ふ(婦)
	19	10オ⑩	いらへなと	いらくなと	誤写	へ	く
	20	10ウ⑤	ゆゝしきまて	ゆかしきまて	誤写	ゝ	か(可)
	21	11オ⑦	たはしきかたにや	たをしきかたにや	誤写7	は(半)	を(乎←遠)
	22	11ウ④	かたらふ	かたくふ	誤写	ら	く
	23	11ウ⑧	をとゝも	をゝくも	誤写	とゝ	ゝく
	24	12オ⑥	かたらひをくさま	かたらひをく□□	欠字B	さま	
	25	12オ⑦	いとしふ／＼に	いとしふくて(2文字難読)	誤写B	／＼に	くて
	26	13オ②		ならひきえ／＼しくみ給にも	意味不明		
	27	13オ④	あなつらはしきにや	あなつりはしきにや	誤写	ら	り
	28	13オ⑦	御気色を	御三宮を	誤写	気色	三宮
	29	13オ⑧	み侍こそ	み侍とそ	誤写	こ	と
	30	14オ①	こたまやうの物ゝ	こたまやうの物に	誤写	ゝ	に
	31	15オ②	とりあえす	とりあらす	誤写	え	ら
	32	15オ⑨	たか御ためも	たり御ためも	誤写	か(可)	り
	33	15ウ⑦	物ゝかけに	物ゝる(orひ)けに	誤写	か(可)	るorひ(日)
	34	15ウ⑧	しのひたてるに	しのひたてに	脱字	る	
	35	16オ②	ついちなとまたくて	ついちなとなくて	誤写	また	な
	36	16オ③	くつれたるかたより	くつれたるかたよせ	誤写	り	せ
	37	16オ⑦	ひたりのをとゝにも	ひたりのをゝら(2文字難読)にも	誤写	とゝ	ゝら
	38	16ウ⑥	きゝよくもあらす	きらよくもあらす	誤写	ゝ	ら
	39	16ウ⑦	はゝ女御との	はゝ女御この	誤写	と	こ
	40	17オ⑤	思うとまれつれ	思うとま給つれ	誤写B	れ	給
	41	18オ⑥	ひとには	ことには	誤写	ひと	こと
	42	18オ⑥	にさせ給はぬ	にせせ給はぬ	誤写	させ	せせ
	43	18オ⑦	さるへきにこそ	さるへきにそ	脱字	こそ	そ
	44	18オ⑨	なかゝらすそ	なからんすそ	誤写7	ゝら	らん
	45	18ウ⑩	むかへられ	むかくれ	誤脱7	へら	く
	46	19オ④	をはします	をもします	誤写	は	も
	47	19ウ④	かたみにしほる	かたみえしほる	誤写	に(尓)	え

	48	19ウ⑨	いとふいのちの	いとまいのちの	誤写	ふ(婦)	ま(満)
	49	19ウ⑨	きえなゝん	きえならん	誤写	ゝ	ら
	50	19ウ⑩	いひあえす	いひあらす	誤写	え	ら
	51	20オ⑤	人のうゑの	人のこゑの	誤写	うゑ	こゑ
	52	20オ⑧	おふへきみにこそ	思ふへきみにこそ	衍字	おふ	思ふ←おもふ
	53	21オ⑤	むすほゝれたるさま	むめほゝれたるさま	誤写	す	め
	54	21オ⑧	うゑ	こゑ	誤写	うゑ	こゑ
	55	21ウ⑨	なにをなにとも	なとをなにとも	誤写	なに(尓)	なと
	56	22オ④	とおほしいるにしも	といるにしも	脱落	おほし	
	57	22オ⑥	うゑは	こゑは	誤写	うゑ	こゑ
	58	22オ⑧	女の御うゑを	女の御こゑを	誤写	うゑ	こゑ
	59	22ウ⑦	されはよ	けれはよ	誤写7	さ	け(遣)
	60	22ウ⑧	いかにしなしつるよそと	いかにしなしつるよそ	補充	と	
	61	22ウ⑩	そよめきまいらんも	そよめきまいらんと	誤写	も	と
	62	23オ③	思まとはるゝに	思まとはさるに	誤写	るゝ	さる
	63	23オ⑤	やをらかゝけて	やをらかけて	脱字	ゝ	
	64	23オ⑥	うゑをはします	こゑをはします	誤写	うゑ	こゑ
	65	23ウ③	いとしるからんを思ふに	いとしかるらんを思ふに	転倒7	るか	かる
	66	24オ⑤	あふきけちて	あふけちて	脱字	き	
	67	24オ⑥	いとうたて	いとそたて	誤写	う	そ
	68	25オ⑤	なひかせ給へよゝに	なひかせ給へよらに	誤写	ゝ	ら
	69	25ウ①	うゑに	こゑに	誤写	うゑ	こゑ
	70	25ウ⑤	わたとのゝとくちまて	わたとのゝくちまて	脱字	とくち	くち
	71	25ウ⑧	うわへたに	うわつたに	誤写	へ	つ
	72	26オ⑨	うきふるさと	うきかゆるさと	誤写	ふ(布)	かゆ(可由)
	73	26ウ④	もてかくすへくも	もてかくへくも	脱字	かくす	かく
	74	26ウ④	あらす	あらめ	誤写	す	め
	75	26ウ⑤	はちかゝやかんも	はちきやらんも	誤写	かゝやかん	きやらん
	76	27オ③	み給しまゝの	み給へしまゝの	衍字		へ
	77	27オ⑨	はゝうゑは	はゝこゑは	誤写	うゑ	こゑ
	78	27ウ③	かくわたり給に	かくわたり給るに	衍字		る
	79	27ウ⑤	ひたふる心	ひたうる心	誤写	ふ	う
	80	28オ④	えの給はぬに	えのひ給はぬに	衍字	の	のひ
	81	28オ⑨	かと／＼しき	うと／＼しき	誤写	か(可)	う
	82	28ウ③	うゑは	こゑは	誤写	うゑ	こゑ
	83	28ウ⑦	きゝにくかりぬへし	きゝにてかりぬへし	誤写	く	て
	84	29オ②	かたへは	かたつは	誤写	へ	つ
	85	29オ⑦	いふせさ	いふをさ	誤写	せ	を(遠)
	86	29ウ③	おとゝは	おとこは	誤写7	ゝ	こ
	87	29ウ⑧	それをしもたのむましけれ	それをしにたのむましけれ	誤写	も	に(尓)
	88	30オ②	火をけちたるやうに	ゆへをけちたるやうに	誤写	火	ゆへ
	89	30オ④	うゑは	こゑは	誤写	うゑ	こゑ
	90	30オ⑥	たてまつらぬたに	たてまつりぬたに	誤写	ら	り
	91	30ウ①	その人とさしてきこえぬを	その人さしてきこえぬを	脱字	と	
	92	30ウ⑤	かく人にゝぬみを	かく人にぬみを	脱字	ゝ	
	93	31オ①	ゆくりかに	ゆつりかに	誤写	く	つ
	94	31オ①	心にくかるましきありさま	心にくかるましさありさま	誤写	き	さ
	95	31オ②	思ひかけす	思ひけす	脱字	か	
	96	31ウ③	をくれたるさまにもてなし	をくれたるにもてなし	脱字	さま	
	97	32オ①	こともなし	ことはもなし	衍字		は

	98	32オ⑦	思ひかはし給える	思ひはし給える	脱字	か	
	99	32ウ③	おほしあはせんもあいなけれは	おほしあはせんとあいなけれは	誤写	も	と
	100	32ウ⑨	せめて	すめて	誤写	せ	す
	101	33オ⑥	その人と(or丶)きこえぬ	その人きこえぬ	脱字	とor丶	
	102	33オ⑩	は丶うゑにそ	は丶こゑにそ	誤写	うゑ	こゑ
	103	33ウ⑦	うゑの御かたに	こゑの御かたに	誤写	うゑ	こゑ
	104	33ウ⑦	ゆるし給はねは	ゆるし給かねは	誤写	は(八)	か(可)
	105	34ウ④	をもき御おほえに	をりき御おほえに	誤写	も	り
	106	34ウ④	このとのには	このとのえは	誤写	に(尓)	え(衣)
	107	35オ③	侍従そをき所なき	侍従ちをき所なき	誤写	そ	ち
	108	35オ⑧	たちつ丶き給える	たちつらき給える	誤写	丶	ら
	109	36オ①	あかし丶かと	あかしかと	脱字7	丶	
	110	36ウ③	くものうゑにも	くものこゑにも	誤写	うゑ	こゑ
	111	37オ⑨	そのふしと	そのふらと	誤写	し	ら
	112	37ウ④	かきりあるせちゑ	かきりあるをちゑ	誤写	せ	を(遠)
	113	37ウ⑥	うちのうゑは	うちのこゑは	誤写	うゑ	こゑ
	114	38オ④	したしきかきりの	したゝきかきりの	誤写	し	丶
	115	39オ③	えうけ給はるましき	えうそ給はるましき	誤写	け(介)	そ
	116	39オ⑤	いみしき上すに	いみしきうへすに	誤写	上	うへ
	117	39ウ⑨	うゑの御心ち	こゑの御心ち	誤写	うゑ	こゑ
	118	40オ①	わかせめいひつるも	わかいさめいひつるも	誤写	せめ	いさめ
	119	40オ③	物丶かすならさりけりと	物丶かすならさりけり	補充	と	
	120	40ウ③	おほしはなれたれは	おほしはなりたれは	誤写	れ	り(利←里)
	121	41ウ②	よりふし給えるをは	よりふし給えるをかて(2文字難読)	誤写	は(者)	かて
	122	41ウ④	あてにらうたけなる	あてにちうたけなる	誤写	ら	ち
	123	41ウ⑦	さまし給へ(orえ)る	さまし給る	脱字	へorえ	
	124	42オ⑧	えなからふましき	えなからふふしき	誤写	ま(満)しき	ふ(婦)しき
	125	42ウ②	み給にそ	み給事そ	誤写	に(尓)	事
	126	43オ⑤	思をき丶こゆる	思をきこゆる	脱字	丶	
	127	43ウ⑤		あそひのみかりふみのかたみまて	意味不明		
	128	44ウ③	いかならん時	いつならん時	誤写	か	つ
	129	44ウ⑤	ひたみちに	ふたみちに	誤写	ひ	ふ
	130	45オ③	もてかくしにくかりし	もてかくしにへかりし	誤写A	く	へ
	131	45オ③	おほしかまえてし	おほかまえてし	脱字	し	
	132	45オ⑦	丁のうちに	丁のうちも	誤写	に	も
	133	45ウ⑦	かたほならん	かたほならかん	衍字	ならん	ならかん
	134	46オ⑦	をさ／＼人もなきに	をと丶人もなきに	誤写	をさ／＼	をと丶
	135	46ウ⑨	うとませ給へくやは	うとませ給へてやは	誤写	く	て
	136	47ウ③	をしいつといふはかりに	をしいつさいふはかりに	誤写	と	さ
	137	47ウ⑧	おもかけに	思ひけに	誤写	おもかけ	思ひ(日)け
	138	48オ④	なやましきこゑつるこそ	なやましきこゑつるそ	脱字	こそ	そ
	139	48ウ⑧	思ふへきならねと	思ふへきならぬと	誤写	ね	ぬ
	140	48ウ⑨	みあつかはるへき	みあつりはるへき	誤写	か	り(利←里)
	141	49ウ③	うちかたらひて	うちかたならひて	衍字		な
	142	49ウ⑥	左大将とのゝうゑも	左大将とのゝこゑも	誤写	うゑ	こゑ
	143	50オ⑤	さるは	さらは	誤写	る	ら
	144	50ウ②	うゑなとも	こゑなとも	誤写	うゑ	こゑ
	145	50ウ⑥	やまのかたゝにのそこに	やまのかたにのそこに	脱字	丶	

	146	52ウ①	にくからす	にくらす	脱字	か	
	147	53オ②	たなひかす	たなかす	脱字	ひ	
	148	53ウ③	思あえす	思あらす	誤写	え	ら
	149	53ウ⑦	うゑも	こゑも	誤写	うゑ	こゑ
	150	53ウ⑩	をとゝの	をかくの	誤写B	とゝ	かく
	151	54ウ⑨	すくやき給へと	すくやけ給へと	誤写	き	け(遣)
	152	55オ⑨	月のひかりも	月のひかりし(1文字微妙)	誤写	も	し
	153	56ウ①	わりなく	をりなく	誤写	わ	を
	154	58オ①	うゑも	こゑも	誤写	うゑ	こゑ
	155	58オ⑦	御身のほとを	御身のほとや	誤写	を	や
	156	58ウ①	心をつくしきこゆる	心をつゝしきこゆる	誤写	く	ゝ
	157	58ウ④	いまいく夜かはと	いまいえ夜かはと	誤写	く	え(衣)
	158	59オ②	しはしもやとせ	しはしもやとを	誤写7	せ(世)	を(遠)
	159	59オ⑦	かきりはてぬる心ち	かきりいてぬる心ち	誤写	は(八)	い
	160	59オ⑩	うゑは	こゑは	誤写	うゑ	こゑ
	161	59ウ⑥	をはしつきても	をはしつけても	誤写	き	け(遣)
	162	60オ⑤	あやうくゆゝしくのみ	あやうくゆかしくのみ	誤写7	ゝ	か(可)
	163	60ウ⑥	をしからぬいのちに	をかしからぬいのちに	衍字		か
	164	61オ①	御ひたひかみの	御ひたかみの	脱字	ひたひ	ひた
	165	61オ③	いたくぬれたる御袖	いたてぬれたる御袖	誤写	く	て
	166	61ウ⑦	いみしううらめしう	いみしうそらめしう	誤写	う	そ
	167	62オ⑨	人つてならて	人すてならて	四つ仮名	つ	す
	168	62ウ①	いとたい／＼しく	いとたゝ(1文字難読)／＼しく	誤写	い	ゝ
	169	62ウ⑦	ひとつてならて	ひとすてならて	四つ仮名	つ	す
	170	63オ①	あるへきと	あるへき	補充	と	
	171	63オ②	おほさるゝ	おほさる	脱字	ゝ	
	172	63ウ②	くるしうし給ふことなれは	くるしうし給へことなれは	誤写	ふ	へ
	173	65オ④	いま一とゝ	いまへとゝ	誤写	一	へ
	174	65オ⑤	うゑに	こゑに	誤写	うゑ	こゑ
	175	65オ⑦	きしきには	きしかさには	誤写	き(幾)	かさ(可左)
	176	65オ⑩	うゑは	こゑは	誤写	うゑ	こゑ
	177	66オ①	いへはさらなりや	いつはさらなりや	誤写	へ	つ
	178	66オ⑤	うゑのはかま	こゑのはかま	誤写	うゑ	こゑ
	179	66ウ⑥	つゝきこほれぬる	つらきこほれぬる	誤写	ゝ	ら
	180	66ウ⑦	みあはせ給はす	みあけ給はす	脱字・誤写	はせ	け(遣)
	181	66ウ⑨	うゑの御むねは	こゑの御むねは	誤写	うゑ	こゑ
	182	68オ⑧	うゑは	こゑは	誤写	うゑ	こゑ
	183	68ウ①	まいり給こともやと	まいり給こともや	補充	と	
	184	69オ⑨	さるへきにこそはと	さるへきにこそは	補充	と	
	185	69オ⑨	おほしさたむれと	おほしきさたむれと	衍字		き
	186	69ウ①	うせたらん心ち	うせたゝん心ち	誤写	ら	ゝ
	187	69ウ④	みなれきこえぬるも	かなれきこえぬるも	誤写	み	か
	188	70オ⑤	左大将とのゝうゑそ	左大将とのゝこゑそ	誤写	うゑ	こゑ
	189	70オ⑨	ひかりかくれ	ひかりりくれ	誤写	か(可)	り
	190	70オ⑩	とのゝ中	のゝ中	脱字	と	
	191	71オ⑦	人にゝぬ御ちきり	人にぬ御ちきり	脱字	ゝ	
	192	71オ⑨	せきあえぬ御なみた	をきあえぬ御なみた	誤写	せ(世)	を(遠)
	193	72オ⑤	うち御らんしつけたらん	うちさらんしつけたらん	誤写	御	さ(佐)
	194	73オ⑥	あはつかなりし	あはつかなかりし	衍字7	なり	なかり

	195	74ウ③	たいのうゑも	たいのこゑも	誤写	うゑ	こゑ
	196	74ウ⑨	人の御うゑに	人の御こゑに	誤写	うゑ	こゑ
	197	75オ④	なかゝるましくや	なにかるましくや	誤写	かゝ	にか(尓可)
	198	75オ⑤	うちのうゑの	うちのこゑの	誤写	うゑ	こゑ
	199	76オ⑦	たいのうゑを	たのうゑを	脱字	たい	た
	200	76ウ①	今は	そは	誤写	今	そ
	201	76ウ①	ためしなかるへきかは	ためしなるへきかは	脱字	なかる	なる
	202	76ウ⑧	御めのとこの	御めのとここ	誤写B	の	こ
	203	76ウ⑧	少将	ゐ給	誤写B	少将	ゐ(井)給
	204	76ウ⑧	少納言	中納言	意改B	少	中
	205	77オ⑩	ゆめうつゝとも	ゆめのうつゝとも	衍字		の
	206	77ウ①	御くせは	御えせは	誤写	く	え
	207	78オ⑥	はつかしくおほしあはするに	はつかしくあはするに	脱文	おほし	
	208	78オ⑨	御みのやつれ	御みのやつされ	衍字		さ
	209	78ウ①	はゝうゑに	はゝこゑに	誤写	うゑ	こゑ
	210	78ウ③	御心をきては	御心せきては	誤写	を(遠)	せ(世)
	211	78ウ⑦	みきこえ給はぬはかりの	みきこえ給はんはかりの	誤写	ぬ	ん
	212	78ウ⑨	はなれかたさなる	はなれかたさなり	誤写	る	り
	213	79オ①	うちこほしつへく	うちこほしつへて	誤写	く	て
	214	79オ⑩	ひと所のみ	ひと所心のみ	衍字		心
	215	79ウ②	さるへきうゑ人	さるへきこゑ人	誤写	うゑ	こゑ
	216	79ウ③	つねに候はせて	つねにははせて	誤写	候	は
	217	79ウ⑧	御らむしいるゝたくひは	御らむしいなくたくひは	誤写	いるゝ	いなく
	218	81ウ②	御まへにめして	御まくらにめして	誤写・衍字	まへ	まくら
	219	81ウ④	おほせ給はするなとは	おほせ給はするなとか	誤写	は(八)	か(可)
	220	81ウ⑨	なをしのいろ所／＼かはりたる	なをしのいろ所／＼かへりたる	誤写	は(八)	へ
	221	82ウ⑩	うゑ人ひきつれて	こゑ人ひきつれて	誤写	うゑ	こゑ
	222	83オ②	あかす	わかす	誤写	あ	わ
	223	83オ④	御みのうゑを	御みのこゑを	誤写	うゑ	こゑ
	224	83オ⑥	ひとゝせの	ひとゝをの	誤写	せ(世)	を(遠)
	225	84オ④	せちにちいさく	をちにちいさく	誤写	せ(世)	を(遠)
	226	84オ⑦	すみうくて	すみなくて	誤写	う	な
	227	84オ⑦	なれしみきりを	なれしみきはを	誤写	り	は
	228	84ウ①	いまひときわも	いまひときれも	誤写	わ	れ
	229	84ウ②	せちにそうしかへし	せちとそうしかへし	誤写	に(尓)	と
	230	85ウ⑤	さしもあらん	さしもゝあらん	衍字		ゝ
	231	85ウ⑦	しるしの御(orみ)はこ	しるしのしはこ	誤写	御orみ	し
	232	86ウ⑧	さたまらせ給	さたまらけ給	誤写	せ(世)	け(遣)
	233	87オ⑥	ひらすらにほこらるゝ	ひたすらとほこらるゝ	誤写	に	と
	234	87オ⑨	えきこえぬほとは	ひきこえぬほとは	誤写	え(江)	ひ(比)
	235	87オ⑨	きこゆへしと	きこゆへし	補充	と	
	236	87ウ⑥	たひ／＼きこえ給	たゝきこえ給	脱字・誤写	たひ／＼	たゝ
	237	88オ①	くつをるゝ	くつせるゝ	誤写	を(遠)	せ(世)
	238	88オ⑦	月のさかり	月さかり	補充	の	
	239	88オ⑨	くちをしく(orと)おほされて	くちをしおほされて	脱字	をしくorをしと	をし
	240	88ウ⑦	かすみふかきに	かすみふかきそ	誤写	に(耳)	そ
	241	88ウ⑧	はえなさそ	はえなさは	誤写	そ	は(者)
	242	89オ③	うゑも	こゑも	誤写	うゑ	こゑ
	243	89オ④	御せいならては	御をいならては	誤写	せ(世)	を(遠)

	244	89オ⑦	うゑの御あそひ	こゑの御あそひ	誤写	うゑ	こゑ
	245	90オ⑥	かたへはいて給ぬれは	かたへいて給ぬれは	脱字	は	
	246	90オ⑥	うゑの御つほね	こゑの御つほね	誤写	うゑ	こゑ
	247	90オ⑦	つまとあけなから	つまあけなから	脱字	と	
	248	90オ⑨	ことにこのみ給はさりし	とにこのみ給はさりし	脱字	ことに	とに
	249	91オ⑩	たいのうゑは	たいのこゑは	誤写	うゑ	こゑ
	250	91ウ⑤	御さいわひなり	御さわひなり	脱字	い	
	251	91ウ⑨	人の	大との	誤写・衍字	人	火と←大と
	252	92オ①		ことをこり	意味不明		
	253	92オ①	いまのうゑの	いまのこゑの	誤写	うゑ	こゑ
	254	92オ⑦	かへしきこえ給へ	かくしきこえ給へ	誤写	へ	く
	255	92オ⑦	きこえ給へと	きこえ給へて	誤写	と	て
	256	92オ⑩	うゑは	こゑは	誤写	うゑ	こゑ
	257	92ウ⑥	御心ともゝたえうこかさるへき	御心ともゝたゝうこかさるへき	誤写	え	ゝ
	258	93オ⑤	うゑの御けしき	こゑの御けしき	誤写	うゑ	こゑ
	259	93ウ④	思そめてし	思そめてたし	衍字		た
	260	93ウ⑩	さてそあるとはきかれし	さてそありとはきかれし	誤写	る	り
	261	94ウ③	くひのやちたひ	こひのやちたひ	誤写	く	こ
	262	95オ①	心ちせしも	心ちせゝく	誤写	せしも	せゝく
	263	95オ③	たいのうゑの	たいのこゑの	誤写	うゑ	こゑ
	264	95ウ⑦	十七にて	十七日にて	衍字		日
	265	96オ⑤	なかのへのてくるま	なかの一のてくるま	誤写	へ	一
	266	96ウ⑤	はゝうゑの	はゝこゑの	誤写	うゑ	こゑ
	267	96ウ⑧	とのゝうゑ	とのゝこゑ	誤写	うゑ	こゑ
巻2	268	1オ③	御なけき	給なけき	誤写	御	給
	269	1オ③	なけきともゝ	なけきもゝ	脱字7	とも	も
	270	1ウ①	思しらるゝひとふし	思しみるゝひとふし	誤写	ら	み(三)
	271	1ウ⑩	かゝるためしの	かゝるゝためしの	衍字	る	るゝ
	272	2ウ⑧	うちのうゑ	うちのこゑ	誤写	うゑ	こゑ
	273	3ウ④		かくゝ(1文字難読)みをおそろしく	意味不明		
	274	4ウ②	袖のうゑを	袖のこゑを	誤写	うゑ	こゑ
	275	4ウ⑦	いとゝしき物をもはしさも	いとゝ物をもはしさも	脱字	いとゝしき	いとゝ
	276	4ウ⑧	そのことゝわかねと	そのことゝわかぬと	誤写	ね	ぬ
	277	5オ③	思ひかはして	思ひはして	脱字	ひか(日可)	ひ(日)
	278	5オ④	なからひなるをはまた	なからひなるをいまた	誤写	は(八)	い
	279	5ウ⑤	よにいりはてゝ	よにいりてはてゝ	衍字	いり	いりて
	280	6オ⑦	心のをにゝあひなくて	心のをにあひなくて	脱字	ゝ	
	281	6オ⑧	うゑの御かたより	こゑの御かたより	誤写	うゑ	こゑ
	282	7オ⑧	女院の御かせのけ	女院の給かせのけ	誤写	御	給
	283	7ウ③	この御かたにおはしませはやかて	この御かたにやかて	脱文D	おはしませは	
	284	7ウ④	御まへにまいり	御まくにまいり	誤写	へ	く
	285	8オ⑤	あけとをして	あけとけして	誤写D	を(遠)	け(遣)
	286	8オ⑧	くすしにて	くすしかて	誤写	に(尓)	か(可)
	287	8オ⑨	ろくをはせめきこゆへき	ろくをかせめきこゆへき	誤写	は(八)	か(可)
	288	9オ②	いとちかうそひをはして	いとちうほひをはして	脱字	ちかう	ちう
	289	9ウ⑥	としのほとよりも	としのほとりも	脱字	よ	
	290	10オ⑧	みきこゆるたひには	みきこゆるかたひには	衍字		か
	291	10ウ⑤	きたをもて	きたをりて	誤写	も	り

	292	10ウ⑤	御らんせさせ給はぬ	御らんさせ給はぬ	脱字	御らんせ	御らん
	293	11オ①	おほそうのましらひ	おほよそのましらひ	誤写・転倒	そう	よそ
	294	12オ①	あさり	あまり	誤写	さ	ま(末←万)
	295	12オ③	さゝさりけれは	ささりけれは	脱字	ゝ	
	296	12ウ①	おほえきこえたる	おほえきこえる	脱字	た	
	297	13オ⑦	ひとりこつなる	ひよりこつなる	誤写	と	よ
	298	13ウ①	思へきそかし	思へきそめし	誤写	か	め
	299	13ウ⑦	たとらぬにや	たとえぬにや	誤写	ら	え
	300	14オ④	いとそなひきやすなる	いとになひきやすなる	誤写	そ	に(耳)
	301	14オ⑨	みこの御さまかたち	みこの御あさかたち	誤写・転倒	さま	あさ
	302	15オ⑤	をかしうそ思なさるゝ	をかしこそ思なさるゝ	誤写	うそ	こそ
	303	16オ⑨	御ともにて	御とりにて	誤写	も	り
	304	17ウ①	さしもおほしたらすや	さしもゝおほしたらすや	衍字7	しも	しもゝ
	305	17ウ⑩	まうて給にけり	まうて給えけり	誤写	に(尓)	え(衣)
	306	18ウ②	はたみえて	はさみて	誤写・脱字	はた(多)みえ	はさ(左)み
	307	19オ⑧	院のうゑ	院のこゑ	誤写	うゑ	こゑ
	308	20ウ⑤	かた／＼わかたせ給	かた／＼かたせ給	脱字	わ	
	309	21オ⑨	をのかさま／＼	ものかさま／＼	誤写	を(遠)	も(毛)
	310	23オ⑩	はきかはなすり	はきりはなすり	誤写	か(可)	り
	311	23ウ①	こゑも	こゑと	誤写	も	と
	312	25オ②	うゑの御つほねに	こゑの御つほねに	誤写	うゑ	こゑ
	313	25オ③	うゑも	こゑも	誤写	うゑ	こゑ
	314	25ウ④	はゝうゑにそ	はゝこゑにそ	誤写	うゑ	こゑ
	315	27ウ④		なけふしふみのけ給に	意味不明		
	316	28ウ⑧	うしろみせさせ給	うしろみさせ給	脱字	せさせ	させ
	317	28ウ⑩	をほな／＼	をいな／＼	誤写	ほ	い
	318	29オ⑩	思給えぬに	思給はぬに	誤写	え	は(者)
	319	29ウ⑧	ころは	心は	衍字	ころ	心←こゝろ
	320	30オ⑤	ひけし給らん	ひけし給はん	誤写	ら	は(者)
	321	30オ⑦	思すくすを	思すへすを	誤写7	く	へ
	322	30ウ⑧	さりや	さもや	誤写	り	も
	323	31ウ②	むつかしさに	むつましさに	誤写	か	ま
	324	31ウ②	かはりたる御なをしのいろ	かへりたる御なをしのいろ	誤写7	は(八)	へ
	325	32オ⑥	おほしなくさむ	おほくなくさむ	誤写	し	く
	326	32オ⑦	にはのこすゑも	にはのこゑも	脱字	こすゑ	こゑ
	327	32ウ⑨	御いのりのこと	御いりのこと	脱字	いのり	いり
	328	32ウ⑩	御ふみこまやかに	御ふみまやかに	脱字	こ	
	329	33オ⑥	御袖のうゑ	御袖のこゑ	誤写	うゑ	こゑ
	330	34ウ⑤	おほしつれと	おほししつれと	衍字	おほし	おほしし
	331	35オ⑥		よひさまよひて	意味不明		
	332	36オ③	御せうゑう	御をうゑう	誤写	せ(世)	を(遠)
	333	36オ⑥	しらせ給はし	しらを給はし	誤写	せ(世)	を(遠)
	334	36ウ⑧	あかのくなと	あるのへなと	誤写	か(可)・く	る・へ
	335	36ウ⑩	しやうしのうちに	しやうのうちに	脱字	しやうし	しやう
	336	37ウ④	あやめられし	あやめみれし	誤写	ら	み(三)
	337	38オ②	たえはて	たゝはて	誤写	え	ゝ
	338	38オ②	まゝはゝのうゑ	まゝはゝのこゑ	誤写	うゑ	こゑ
	339	38オ⑩	まろらか	まろうか	誤写	ら	う
	340	38オ⑩	きゝしは	きしは	脱字	ゝ	
	341	38ウ①	大将とのゝうゑを	大将とのゝこゑを	誤写	うゑ	こゑ

	342	39オ④	むとくに	ひとくに	誤写	む	ひ
	343	39ウ⑨	おほしたゝぬに	おほしたらぬに	誤写	ゝ	ら
	344	40オ①	いみしうしのひて	いみしうのひて	脱字	しのひ	のひ
	345	40オ③	あきれまとひ	あされまとひ	誤写	き	さ
	346	40オ⑩	きこしめし	ききこしめし	衍字	き	きき
	347	41ウ⑧	えし給はす	えみ給はす	誤写7	し	み(三)
	348	41ウ⑩	あやにくなる	大やにくなる	誤写	あ	大
	349	42オ①	しか／＼と	しは／＼と	誤写	か(可)	は(八←者)
	350	42オ⑦	ふみをたに	ふえをたに	誤写	み(三)	え
	351	42ウ②	心よりほかにのみなん	心よりほかにのみん	脱字	なん	ん
	352	43オ⑦	おもかけ	思かけ	当て字		
	353	44オ①	をしあてゝ	をしあけてゝ	衍字7	あて	あけて
	354	44オ⑨	たちかへり	たちかへる	誤写	り	る
	355	44オ⑩	思くたくる	思くたへる	誤写	く	へ
	356	44オ⑩	むねのうち	むねのみち	誤写	う	み(三)
	357	45ウ⑦	のかるゝも	のゝかるゝも	衍字	の	のゝ
	358	46オ⑤	廿日のほとに	廿日ほとに	補充	の	
	359	47オ⑥	思ひくせらるゝ	思ひくせゝらるゝ	衍字	くせ	くせゝ
	360	47ウ③	はつかしけなる	はつかしきけなる	衍字		き
	361	47ウ⑧		あけるめなき御なみた	意味不明		
	362	47ウ⑨	ひたすら	ひすら	脱字	た	
	363	48ウ⑤	うつろはさん	うつろさん	脱字	は	
	364	48ウ⑥	四てう	いかてう	誤写	四	いか(以可)
	365	49ウ①	このよのとちめにて	このよのとちめて	脱字	にて	て
	366	49ウ⑨	まきらはしかきたる	まきらはしきたる	脱字	かき	き
	367	50オ⑥	かやうの御なやみ	かやうの給なやみ	誤写	御	給
	368	50オ⑧	ならはせ給はて	ならいせ給はて	誤写	は(八)	い
	369	51ウ①	御いのりをはせさせ給へ	御いのりをいさせ給へ	誤写・脱字D	は(八)せさせ	いさせ
	370	51ウ②	らいせ	らいらせ	衍字D	せ	らせ
	371	51ウ⑦		みちのほとりかせさせさへいみしくふきて	意味不明		
	372	52オ③		ふところきぬのうちまてふきまとはされたるを	意味不明		
	373	52オ⑧	ひろひさしのうゑも	ひろひさしのこゑも	誤写	うゑ	こゑ
	374	52オ⑩	かうのからかみはりたる	かうのからみはりたる	脱字	かみ	み
	375	52ウ②	おほえなく	おほらなく	誤写	え	ら
	376	53ウ①	かへりて	まへりて	誤写	か	ま
	377	54オ①	ゆかりにつけて	ゆかりにつけん	誤写	て	ん
	378	54オ⑧	あさゆふの御いていり	あさゆふの給いていり	誤写	御	給
	379	55ウ⑦	返々(orゝ)	返し(1文字微妙)	誤写	々orゝ	し
	380	56オ②	いたく	いかゝ(orく)	誤写D	たく	かゝ
	381	56オ②	御かひをつくり	御かひをせくり	誤写D	つ	せ
	382	56オ⑩	思かけす	思かけり	誤写	す	り
	383	58オ⑨	としとゝもに	としともに	脱字	ゝ	
	384	58ウ①	やまさと人も	やまさ人も	脱字	さと	さ
	385	59ウ②	しよゐのき	しよくゐのき	衍字		く
	386	59ウ⑧	きこえさせす	きゝえさせす	誤写	こ	ゝ
	387	60オ②	かきかへしおほえ	かきかへしおほし	誤写	え(江)	し(新)
	388	60オ③	さる事もやとゝしころ	さる事もやとしころ	脱字	ゝ	
	389	60ウ③		むかしかう三位とのに	意味不明		
	390	61ウ④	ひかへて	ひかつて	誤写	へ	つ

	391	61ウ⑤	うゑは	こゑは	誤写	うゑ	こゑ
	392	62オ⑧	かなしうなりて	かなしうなりつゝ(2文字微妙)	誤写	て	つゝ
	393	62ウ④	うゑは	こゑは	誤写	うゑ	こゑ
	394	63オ⑨	みつけられきこゑぬるを	みつけられきこゑぬ事を	誤写	る	事
	395	63ウ⑥	おほしゝほれて	おほしほれて	脱字7	ゝ	
	396	64オ⑩	いり給て	いり給つゝ(2文字微妙)	誤写	て	つゝ
	397	64ウ⑦	きこゆるに	きゝゆるに	誤写	こ	ゝ
	398	65オ⑧	御ともの	御とりの	誤写	も	り
	399	65オ⑨	はゝうゑをはしめ	はゝこゑをはしめ	誤写	うゑ	こゑ
	400	67オ③	うたかいなく	うたるいなく	誤写	か(可)	る
	401	68オ⑧	をはするたひにをもりつゝ	をはする日ゝにをもりつゝ	転倒D	たひ	日ゝ(ひゝ←ひた)
	402	68ウ①	ひまをはすとて	ひまを見すとて	誤写D	は(者)	見
	403	68ウ⑤	たゝかはりにかはり	たゝかはかりにかはり	衍字	かはり	かはかり
	404	68ウ⑤	かはり給に	かはり給え	誤写D	に(尓)	え(衣)
	405	68ウ⑦	しるしありといふかきり	しるしあるといふかきり	誤写	り	る
	406	68ウ⑨	のゝしりみちたり	のしりみちたり	脱字	ゝ	
	407	69オ⑧	無諸衰患と	無諸裏患	誤写・補充	衰患と	裏患
	408	69ウ⑨	いさゝかその人にもあらす	いさゝその人にもあらす	脱字	か	
	409	70オ①	かたふかれ給さて	かたふかれ給まて	誤写	さ	ま(万)
	410	70オ①		わか御心さしをはせねは	意味不明		
	411	70オ⑩	かつ／＼	まつ／＼	誤写	か	ま
巻3	412	19オ①	よとむとか	よとむとかと	衍字C	とか	とかと
	413	19オ①	かくみなして	かくみなくて	誤写	し	く
	414	19ウ⑤	四条のうゑ	四条のこゑ	誤写	うゑ	こゑ
	415	19ウ⑦	うちきゝ給もゝのおほえ給はす	うちきゝ給ものおほえ給はす	脱字C	もゝ	も
	416	19ウ⑦	かくいふかひなく	かついふかひなく	誤写C	く	つ
	417	1オ⑩	ほのめきわたりし	ほのあきわたりし	誤写	め	あ
	418	1ウ⑧	ひきくるへかさる	ひきくなへかさる	誤写	くる	くな
	419	2オ③	ひとつに	ひとへに	誤写	つ	へ
	420	2オ⑩	このたひは	このたひに	誤写	は(者)	に(尓)
	421	2ウ①	左大臣とのに	左臣とのに	脱字	大	
	422	2ウ①	せちに	おちに	誤写	せ	お←を
	423	3オ④	宮のうゑ	宮のこゑ	誤写	うゑ	こゑ
	424	3オ⑦	わかみのうゑ	わかみのこゑ	誤写	うゑ	こゑ
	425	3ウ⑧	ことのほかはえなくて	ことのもとはえなくて	誤写	ほか	もと
	426	4オ④	人のゝこらんやは	人のゝこしんやは	誤写	ら	し
	427	4ウ④	みたてまつるとて	みたてまつるをて	誤写	と	を
	428	4ウ⑤	ひをいとちかうとりよせ	ひをいとあかうとりよせ	誤写7	ち	あ
	429	5オ⑧	あまうゑ	あまこゑ	誤写	うゑ	こゑ
	430	6オ①	ひやうふのうゑより	ひやうふのこゑより	誤写	うゑ	こゑ
	431	6オ⑨	思まかふるかたなき	思まかふなかたなき	誤写	る	な
	432	7オ⑧	をしくゝみて	をしくみて	脱字	ゝ	
	433	7ウ②		とのともをみ給にも	意味不明		
	434	8オ①	をしとゝめたてまつりて	をしとられたてまつりて	誤写C	とゝめ	とられ
	435	8オ①	ゆゝしうおほさるれは	ゆかしうおほさるれは	誤写	ゝ	か(可)
	436	8オ⑧	七日おほやけさまにて	おほやけさまにて	脱落	七日	
	437	8ウ②	ゆきのうゑに	ゆきのこゑに	誤写	うゑ	こゑ
	438	8ウ③	すこしかはりたる	すこしかはわたる	誤写	り(里)	わ(王)

	439	8ウ③	ぬひ(orい)物	ぬり物	誤写	ひ(orい)	り(里←利)
	440	8ウ⑤	かへらせ給へく	かへらせ給て	誤写7	へく	て(天)
	441	9ウ⑨	うつくしうそしなしたる	うつくしこそしなしたる	誤写	うそ	こそ
	442	9ウ⑩	御まへには	御まつには	誤写	へ	つ
	443	10ウ⑩	右のをとゝ	左のをとゝ	意改	右	左
	444	12オ②	御やまひにもあらて	御やまひもあらて	脱字	にも	も
	445	12オ③	つもるには	つもりは	誤写	るに(尓)	り(里)
	446	12オ⑧	いかてかみゝとゝめむ	いかてかみとゝめむ	脱字C	みゝ	み
	447	12オ⑨		かやのほとのうたのそるにやといふにも	意味不明C		
	448	12オ⑩	かくれおはします	かくれまはします	誤写	お	ま
	449	12ウ⑦	おほしめすはかり	ほしめすはかり	脱字	お	
	450	12ウ⑩	こ大将の御かはりには	こ大将御かはりには	補充	の	
	451	13オ③	の給しかと	の給給しかと	衍字	給	給給
	452	13オ④	ちとせよろつよにて	ちとせよろつにて	脱字	よろつよ	よろつ
	453	13ウ①	ことゝも	ことくも	誤写C	ゝ	く
	454	13ウ④	こほれそふへき	こほれそふくき	誤写	へ	く
	455	13ウ⑤	なりては	なりはては	衍字C	て	はて
	456	13ウ⑤	ひとりのみおはする	ひとりのみおちする	誤写	は	ち
	457	14オ③	あふひならて	あふひなくて	誤写	ら	く
	458	14オ④	あらぬに	あえぬに	誤写	ら	え
	459	14オ⑧	おもかけ	思かけ	当て字		
	460	14ウ⑤	思ひはなれても	思ひなれても	脱字C	は	
	461	14ウ⑧	おほさるらめと	おほさるゝめと	誤写	ら	ゝ
	462	15オ⑩	まとふやみちを	まかふやまちを	誤写C	と	か
	463	15ウ⑧	まちをはするさま	まちをはすかさま	誤写	る	か(可)
	464	16オ②	御おもかけ	御思かけ	当て字		
	465	16オ⑤	きこえんかたなし	きこえんかたなり	誤写	なし	なり
	466	16オ⑩	御てもわなゝけと	御てもわならけと	誤写	ゝ	ら
	467	16ウ⑨	ないしは	なしは	脱字	い	
	468	17オ③	うゑ	こゑ	誤写	うゑ	こゑ
	469	17ウ⑥	とかむへけれは	とゝむへけれは	誤写	か	ゝ
	470	17ウ⑩	いひやるかたなう	いひやることなう	誤写C	かた(可多)	こと
	471	18オ③	おほえねと	おほえれと	誤写	ね	れ
	472	18オ⑧	つらぬきかゝる	つらぬきかくる	誤写	ゝ	く
	473	18オ⑩	いてぬへきこそ	いてぬへきこそこそ	衍字		こそ
	474	18ウ⑧	いかにみ給つらんと	いかにみ給つらん	補充	と	
	475	20オ①	おほしつゝけらるゝ	おほえつゝけらるゝ	誤写	し	え
	476	20ウ③	さはくに	さはへに	誤写	く	へ
	477	20ウ⑨	しるからん物をと	しるからん物を	補充	と	
	478	21オ②	たゝきへにきへはて	たゝきへにたへはて	誤写	きへ	た(多)へ
	479	21オ⑨	まとひいて給	まとろひいて給	傍記竄入7	ろ	
	480	21ウ②	はかりをそみ給ける	はかりをそみ給けり	誤写	る	り
	481	21ウ⑥	四条のうゑ	四条のこゑ	誤写	うゑ	こゑ
	482	21ウ⑨	とりわき	とりもち	誤写	わき	もち
	483	22オ②	四条のうゑそ	四条のこゑそ	誤写	うゑ	こゑ
	484	22オ②	とりもちあつかひ	とりもちあへりひ	誤写	つか(可)	へり
	485	22オ③	きしろひわたる御み	きしろひいたる御み	誤写C	わ	い
	486	22ウ①	かくてさふらはせ給はんに	かくて御ふらはせ給はんに	誤写	さ	御
	487	22ウ⑩	かたへは	かたつは	誤写	へ	つ

	488	23オ⑥	あえなくかくれ	あらなくかくれ	誤写	え	ら
	489	23オ⑩	まちうけ給える	まちかけ給える	誤写	う	か(可)
	490	23ウ⑥	めのまへにみ給に	めのまつにみ給に	誤写	へ	つ
	491	23ウ⑧	とのゝうゑは	とのゝこゑは	誤写	うゑ	こゑ
	492	24オ①	うゑは	こゑは	誤写	うゑ	こゑ
	493	24オ③	大宮も	大との大宮も	衍字C		大との
	494	24ウ⑧	うちの大との	うち大との	補充	の	
	495	24ウ⑧	大とのゝなけき	大とのなけき	脱字	ゝ	
	496	25ウ③	みかきかゝやかされて	みかきかゝやされて	脱字	やか	や
	497	26ウ②	右の大とのゝとうの中将	右の大とのとうの中将	脱字	ゝ	
	498	27オ⑥	したかひて	したかひに	誤写	て	に
	499	27オ⑦	人のうゑには	人のこゑには	誤写	うゑ	こゑ
	500	27オ⑧	うゑの御あそひ	こゑの御あそひ	誤写	うゑ	こゑ
	501	27ウ④	えたえす	えたらす	誤写	たえ	たら
	502	27ウ④	にしきの御丁に	にしきの丁に	脱字	御	
	503	28オ②	そらにはかにはれて	そらにいかにはれて	誤写	は(八)	い
	504	28オ⑥	おほしならるれは	おほへならるれは	誤写	し	へ←え
	505	29オ①	いかにおほしいてらるゝにか	いかにおほしいてらるゝにる	誤写	にか(可)	にる
	506	29オ①	しらへにあはせて	しゝくにあはせて	誤写	しらへ	しゝく
	507	29オ⑧		ひかりをはらす物から	意味不明		
	508	29ウ⑦	御袖のうゑに	御袖のこゑに	誤写	うゑ	こゑ
	509	29ウ⑩	はなを御てにとらせ給	はちを御てにとらせ給	誤写	な	ち
	510	30オ⑥	をしのこひて	をしのうひて	誤写	こ	う
	511	30ウ②	しるき御にほひも	しかき御にほひも	誤写	る	か(可)
	512	30ウ⑧	あめしつくとそしほたれ給	あめしつことそしほたれ給	誤写	くと	こと
	513	31オ⑦	つらねてふたうす	つられてふたうす	誤写C	ね	れ
	514	31ウ②	さま／＼にさきのよ	さま／＼のさきのよ	誤写C	に	の
	515	33オ③	むすほゝれすくし給えと	むすほられすくし給えと	誤写	ゝ	ら
	516	33オ⑥	そむきすてんも	そむきすてんと	誤写	も	と
	517	34オ⑩	思たえたるを	思たてたるを	誤写	え	て
	518	34ウ⑧	人のうゑとも	人のこゑとも	誤写C	うゑ	こゑ
	519	35オ①	思ひみたれたる気色	思ひみたれる気色	脱字	たる	る
	520	35オ④	いとしのひて	いとのしのひて	衍字	いと	いとの
	521	35オ⑨	大将とのかなにそ	大将とのかなとそ	誤写	なに	なと
	522	35ウ④	たれもいひやらぬに	たれきいひやらぬに	誤写	も	き
	523	36オ⑩	かゝらさらんに	かゝらさらんと	誤写	に	と
	524	36オ①	心のをにゝかたはらいたくて	心のをにかたはらいたくて	脱字7	ゝ	
	525	36ウ③	のほらせ給ぬるにや	のほらせ給ぬにや	脱字C	ぬる	ぬ
	526	37ウ④	ゆるさんやは	ゆるさんは	脱字	やは	は
	527	38オ⑦	みたれたゝせ給はす	みたれたゝせさせ給はす	衍字		させ
	528	38ウ④	きゝわき給へくも	きくわき給へくも	誤写	ゝ	く
	529	40オ⑥	いとにはかに	いとにいかに	誤写	は(八)	い
	530	40ウ⑨	あらしのやまかなと	あらしのやまかれと	誤写	かな(那)	かれ
	531	41オ⑥	したくゝるいせきのみつ	したくるいせきのみつ	脱字	くゝる	くる
	532	42オ⑩	をいの御け	をいの御	脱字7	け	
	533	43オ④	思ひきこえ給えるこそあはれなれ	思ひきこえ給えるこそあはれなる	意改	なれ	なる
	534	43オ⑤	ゐせきのなみのをとも	ゐときのなみのをとも	誤写	せ	と
	535	44オ①	ふきはらふこからしに	ふきからふこからしに	誤写	は(八)	か(可)
	536	44オ⑤	たかきたんのうゑに	たかきたんのこゑに	誤写	うゑ	こゑ

	537	44ウ⑥	やりわたさるゝほと	やわわたさるゝほと	誤写	やり(里)	やわ(王)
	538	45オ⑦	ひことに御仏くやうせさせ	ひことに給仏くやうせさせ	誤写	御	給
	539	45オ⑨	御いのりとものしるしにや	御いのりとのしるしにや	脱字7	とも	と
	540	45ウ⑤	おほしつる事なれと	おほしつる事なれは	誤写	と	は(者)
	541	45ウ⑧	御身のうゑに	御身のこゑに	誤写	うゑ	こゑ
	542	45ウ⑩	所のさまこのころのそらさへ	所のさまころのそらさへ	脱字	このころの	ころの
	543	46オ⑧	おほしをきてしかと	おほしをきてしかは	誤写	と	は(者)
	544	46ウ③	人のうゑにたに	人のこゑにたに	誤写	うゑ	こゑ
	545	47ウ③	さりとも	さりと	脱字	とも	と
	546	48ウ②	こめてやみなんも	こめてやみなんと	誤写	も	と
	547	48ウ⑤	おもひ給へつゝみなから	おもひ給へとつゝみなから	衍字C		と
	548	50オ①	かねを	かね／＼	意改C	を	／＼

以上、「『在明の別』本文校訂箇所一覧（稿）」と題した本稿であるが、そこには、本文校訂案の提示ができなかった「意味不明」箇所を、多数含んでいる。じつは、それこそが、「諸賢のお知恵を拝借したい」最たるものなのであった。

大槻氏の著書 3 では、各巻の「本文整定考」において、巻一 149 箇所、巻二 84 箇所、巻三 70 箇所の、合計 303 箇所について本文の検討が行われている。それが、本稿では、意味不明も含めて、通算 548 箇所となった。もっとも、「上」の意の「うゑ」が、どう見ても「こゑ」としか判読できない例（「声」の意の「こゑ」もあり、両者は識別不能である）が頻出するのを、筆癖と見なせば済むところ、いちいち誤写として処理したため、その数 74 箇所が水増しされた恰好ではある。しかし、それを減じても 474 箇所というのは、墨付全 217 丁のこの物語にとって、けっして少ない数とはいえまい。

同じく〈天下の孤本〉と呼ばれても、流麗かつ丁寧な筆跡の写本であることから、一緒に収められた『あさぢが露』の写真複製から受ける印象とは大違いで、身構えることなく向き合えそうに思える本作品であるのだが、そのやさしげな見せかけとは裏腹に、じっさいには、すらすら読むのは至難の業、というべき底本本文の状態であることは、この校訂箇所の多さによっても再認識できるであろう。本稿を叩き台に、寄せられたご意見に耳を傾け、前記のように〈よりよい校訂本文〉の完成を目指しながら、注釈書としての整備も着実にすすめてゆきたい、と念じている。（2019 年 3 月稿）

（からしま　まさお・本学大学院教授）